

1.2 受注者（データを生み出す側）のプログラム

浚渫土砂の評価に関わる各事務所や試験機関は、そのデータの正確性（精密さやバイアスについて）、代表性、比較可能性、完全性を周知し文書化することを保証するような手順を踏まなければならない。この責任が果たされることを保証するために、各参加機関はプロジェクト責任者および品質保証管理計画の文書を持つ必要がある。品質保証管理計画は、その管理下にある手順が EPA および USACE が認めた基準に従っていることを保証するために提案される管理手引きを特定の事項において記述したものである。この計画は、品質保証ポリシーを記述し、品質保証管理計画の具体的内容と適用について扱い、訓練要件を明記し、そしてそのほかに EPA の品質保証管理担当者が求める内容（例えば、管理システムの点検）を含んでいる必要がある。浚渫土砂評価に関する全ての現地計測、サンプリング、分析項目（物理的、化学的、生物学的）について議論されていなければならない。

浚渫土砂検査プロジェクトの達成のために、各参加機関の責任者は下記事項を保証するような、よく組織化された品質保証プログラムを構築する必要がある。

- ・各調査に対する適切な品質保証計画書の作成、実行、および管理
- ・すべての現場、試験機関の標準操作手順におけるデータの質を評価するための、定められた品質管理手順の内包
- ・品質保証プロジェクト計画と標準操作手順に適合することが確認できるような頻度での、十分に詳細な監査の実施
- ・品質保証プロジェクト計画と標準操作手順の質を改善するための、定期的な品質管理手順の評価
- ・適時適切な修正措置の実行

この文書で提供されるガイダンスは、データ作成者が現場や試験機関において高品質なデータを作成することを支援するを意図している。すなわち、正しい形式と品質の情報が EPA および USACE に提供され、浚渫土砂が水域投入処分されるにふさわしいかを定められた確信度のレベルで判断するために。